

地域で自立した生活を営むことができるよう、入所施設から地域生活への移行を積極的に進めます

予算額 619,978千円

1 障害者施設設置費補助金 600,020千円

障害のある人が身近な地域で暮らすことができるようグループホームや障害者施設の整備費に対して助成します。

- ・グループホーム、障害者施設 14施設

2 障害者地域移行推進事業費（新規） 19,958千円

○ 共同生活援助事業所の世話人の確保

- ・グループホームの世話人確保のため、世話人の仕事紹介や仕事体験を実施します。

○ 生活体験道場の開催

- ・施設入所者が地域での生活を体験したり、地域移行をした障害者から直接体験談を聞く等、地域移行に向けた取組を実施します。

○ 障害者の新たな仕事の創出

- ・障害者の工賃等の向上のため、企業と就労継続支援事業所等をマッチングし、新たな受注や仕事を生み出す取組を実施します。
- ・企業と芸術的な才能がある障害者をマッチングし、障害者雇用へつなげる取組を実施します。

[障害者福祉事業所で生産された商品(例)]



きんちゃく袋



コースター

[在宅勤務での絵画制作風景]



障害のある方の社会参加と障害への理解促進を図ります

健康福祉部障害福祉課
企画・調整、地域生活支援グループ
内線 3230・3241
(ダイヤル)052-954-6294

予算額 44,269千円

1 障害者コミュニケーション手段利用促進費

29,491千円

◆意思疎通支援者の養成・派遣

障害者が社会の構成員として地域の中で安心して生活を送ることができるよう、意思疎通支援者の養成や派遣などを行います。

- ・手話通訳者や要約筆記者等の養成・派遣
- ・頸肩腕障害予防のための健康診断や健康管理講座の実施
- ・失語症者向け意思疎通支援者の養成研修など

2 ヘルプマーク普及促進事業費（新規）

2,648千円

◆ヘルプマークの普及促進

義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方、または妊娠初期の方など、援助や配慮を必要としていることが外見からは分かりにくい方々が、配慮を必要としていることを周囲の方に知らせるための手段となるヘルプマークの普及を促進します。

- ・普及啓発リーフレット及びポスターの作成、配布
- ・市町村と連携したヘルプマークの作成、配布



ヘルプマーク

3 障害者芸術文化活動推進事業費

◆あいちアール・ブリュットの推進 5,990千円

「あいちアール・ブリュット障害者アーツ展」を通して、障害のある方の社会参加と障害への理解促進を図ります。

- ・作品展、舞台・ステージ発表、トークイベント等を開催
- ・芸術系大学の教員等が障害者支援施設等を訪問し、造形活動やダンスの指導を行う出前講座の実施
- ・全国障害者芸術・文化祭への作品出展等



あいちアール・ブリュット
ロゴマーク

◆障害者の芸術活動を支援する人材の育成（新規）

6,140千円

障害のある方の創作・表現活動を支援する人を育成します。

- ・施設職員等が企画、運営する作品展の開催
- ・著作権や支援方法に関する研修会の開催 等

ART BRUT

アール・ブリュットとは

加工されていない生の（き）の芸術、
伝統や流行・教育などに左右されず
自身の内側から湧きあがる衝動のままに
表現した芸術を示す。障害のある
方・子ども・素人芸術家らの作
品を指すため1947年ごろ
から用いられている。



磯崎亮 < キリンメスさん
ウマオスくん >

愛知県医療療育総合センターの整備を進めます

予算額 8, 164, 562千円

健康福祉部障害福祉課
 障害者施設整備室
 コロニー再編整備G
 内線 3238・3243
 (ダイヤル) 052-954-6293

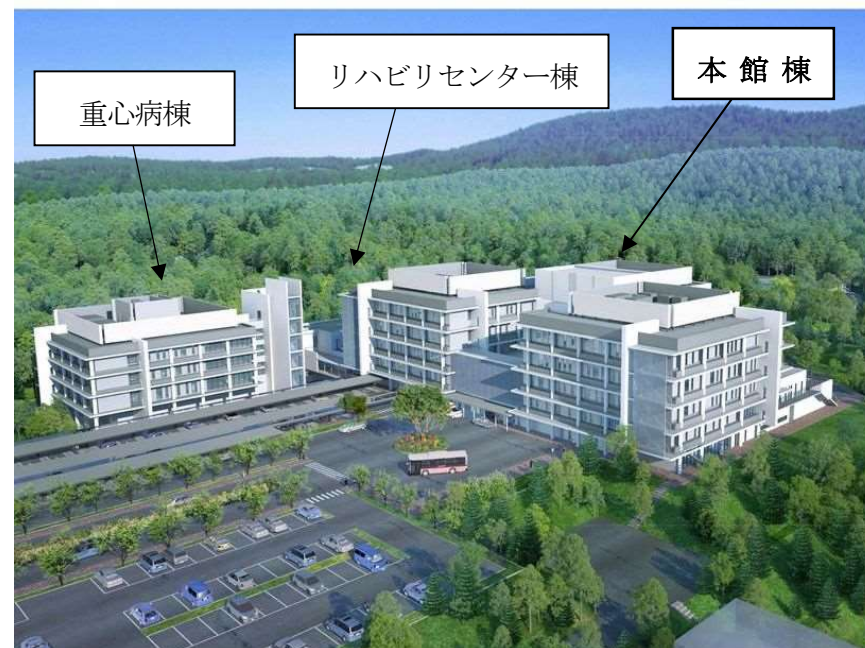
愛知県心身障害者コロニーを、地域で生活する障害のある人を支援する障害者医療及び療育の拠点として再編整備を進めます。

平成31年3月には本館棟の供用を開始し、全面開所します。

1 機能・規模

○リハビリセンター棟 (供用開始済み)		
○重心病棟 (供用開始済み)		
・医療型障害児入所施設	120床	267床
○本館棟		〔再編前 355床〕
〔医療支援部門〕		
・病院部門	147床	
・研究部門		
〔地域療育支援部門〕		
・福祉型障害児入所施設	37人	

〈完成後のイメージ〉



2 供用開始

- 平成28年3月：リハビリセンター棟
- 平成28年7月：重心病棟
- 平成31年3月：本館棟

自殺・ひきこもり対策を推進します

予算額 135,239千円

健康福祉部障害福祉課
こころの健康推進室
こころの健康推進グループ
内線 3247・3248
(ダイヤル)052-954-6621

社会問題化している自殺やひきこもりなど、「心の健康」の問題に適切に対応するため、市町村を始め、関係機関や民間団体と連携し、平成29年度中に策定する「第3期あいち自殺対策総合計画」に基づく自殺対策やひきこもり対策を推進します。

○ 自殺・ひきこもりなど心の健康問題への積極的な取組

- ・「あいちこころほっとライン365」による電話相談やEメール相談
- ・自殺予防週間における自殺予防街頭啓発キャンペーンの実施
- ・自殺予防のゲートキーパーの養成
- ・相談窓口を広く周知するためのリーフレット等の作成
- ・「ひきこもり相談専用電話」による相談

○ 地域における更なる自殺対策の強化の推進

- ・市町村が行う自殺対策事業（人材養成、普及啓発、相談等）に対する補助
- ・市町村の自殺対策計画策定に対する補助



<厚生労働省 自殺対策の標語及びロゴマーク>



依存症対策を推進します

予算額 20,946千円（新規）

健康福祉部障害福祉課
こころの健康推進室
精神保健グループ
内線 3249・3495
(ダイヤル)052-954-6622

アルコールやギャンブル等の依存症については、適切な治療や支援により回復が十分可能な疾患であるため、依存症に関する正しい知識の普及を図るとともに、患者やその家族等に対し、予防、相談、治療、回復支援に至る支援体制の整備を図ります。

1 相談体制等の整備

- 精神保健福祉センターにおける専用電話による相談及び回復支援プログラムの実施
- 依存症治療拠点機関等の選定による医療提供体制の整備

2 正しい知識の普及啓発

- 依存症に関する正しい知識の普及を図るため、リーフレットを配布

3 適切な相談支援を行うための人材育成

- 県職員を依存症対策全国拠点機関が実施する研修会へ派遣
- 市町村の相談担当職員等を対象に、依存症に関する知識の習得や相談対応能力の向上を目的とした研修会を実施

4 依存症関係団体の支援

- 依存症問題に取り組む民間団体の相談、普及啓発等の活動を支援



新しい特別支援学校を整備するとともに、 次期特別支援教育推進計画を策定します

予算額 3, 812, 900千円

とりまとめ
教育委員会特別支援教育課
指導グループ、内線 3932・3933
(ダイヤルイン)052-954-6798

1 瀬戸つばき特別支援学校建設費 3, 732, 213千円

春日台特別支援学校（知的障害）の過大化を解消するため、尾張北東地区に知的障害特別支援学校を新設します。平成31年度の開校に向けて、引き続き建設工事を実施します。

- 場 所：瀬戸市南山口町地内（旧みなみやまランド）
- 開校予定：平成31年4月

2 西三河南部地区新設特別支援学校基本設計費 79, 797千円

安城特別支援学校（知的障害）の過大化による教室不足の解消と岡崎特別支援学校（肢体不自由）への長時間通学の緩和を図るため、本県で初めて、知的障害及び肢体不自由の両方に対応する特別支援学校を新設します。平成34年度の開校に向けて、基本設計等を行います。

- 場 所：西尾市須脇町地内
- 開校予定：平成34年4月

3 特別支援教育推進計画策定費（新規） 890千円

平成26年3月に策定した「愛知県特別支援教育推進計画」の進捗や成果を分析するとともに、様々な課題を総合的にとらえ、中・長期的な視点に立った推進方策を検討し、今後の指針となる次期特別支援教育推進計画を策定します。

- 策定時期：平成30年度

瀬戸つばき特別支援学校（イメージ）



特別支援学校開設の状況

H26年度	開校 いなざわ特別支援学校 豊橋特別支援学校山嶺教室
H27年度	開校 豊橋市立くすのき特別支援学校 名古屋市立南養護学校分校
H30年度	開校予定 大府もちのき特別支援学校 刈谷市立刈谷特別支援学校
H31年度	開校予定 瀬戸つばき特別支援学校
H34年度	開校予定 西三河南部新設特別支援学校